

平成30年度予算に係る
公共事業及び単独公共事業

主要箇所の概要

うじたわらやまてせん
一般国道307号（宇治田原山手線）
 （宇治田原町ねだ費田みなみ～南）

一般国道307号は、滋賀県彦根市から宇治田原町を經由して大阪府枚方市に至る幹線道路であり、第二京阪道路や京奈和自動車道等と接続する京都府南部地域の重要な東西軸であり、第2次緊急輸送道路としての役割も担っております。

しかし、宇治田原町域では、朝夕には慢性的に渋滞が発生し、また平成25年の台風18号の際には土砂崩れで全面通行止めとなり、町内の交通機能が麻痺するなど、その代替機能の確保が求められており、平成35年開通予定の新名神高速道路の効果を活かした新たなまちづくりを支援するとともに、企業立地の誘導等による地域産業の振興に寄与します。

本事業により、供用済の宇治木屋線（南バイパス）から町道第1南北線までの区間を整備することにより、町道と一体となって国道307号を補完する道路網を形成するものです。

平成30年度は、設計・用地測量を実施します。

◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H29～H33 事業延長：0.9km 幅員：6.5(10.5)m 総事業費：約11億円	事業概要：路線測量 事業費：0.1億円	事業概要：設計 用地測量 事業費：0.4億円

◎事業効果

- バイパス整備により、現道の渋滞を緩和し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 高速道路へのアクセス向上により、新たなまちづくりに寄与し、地域産業の振興や交流人口拡大等が図られます。

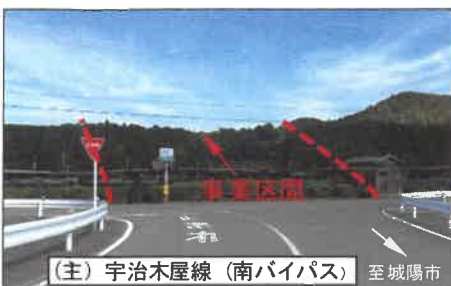
位置図



標準横断面図



単位(m)



【事業区間の状況】



【国道の渋滞状況】



【被災の様子 平成25年9月】

問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当（075-414-5252）

おおみやみやねやま
一般国道312号（大宮峰山インター線）
きょうたんご みねやまちょうしんまち
（京丹後市峰山町新町地内）

一般国道 312 号は、京都府宮津市から京丹後市を経て兵庫県姫路市に至る道路で、京都府丹後地域においては山陰近畿自動車道（地域高規格道路鳥取豊岡宮津自動車道）と一体となる東西幹線道路です。

当該区間は、山陰近畿自動車道の内、平成 27 年度より直轄権限代行事業中の大宮峰山道路（（仮称）大宮峰山 IC）へのアクセス道路として整備することにより、地域の活性化に大きく寄与するものです。

平成 30 年度は、土質調査・設計を実施します。

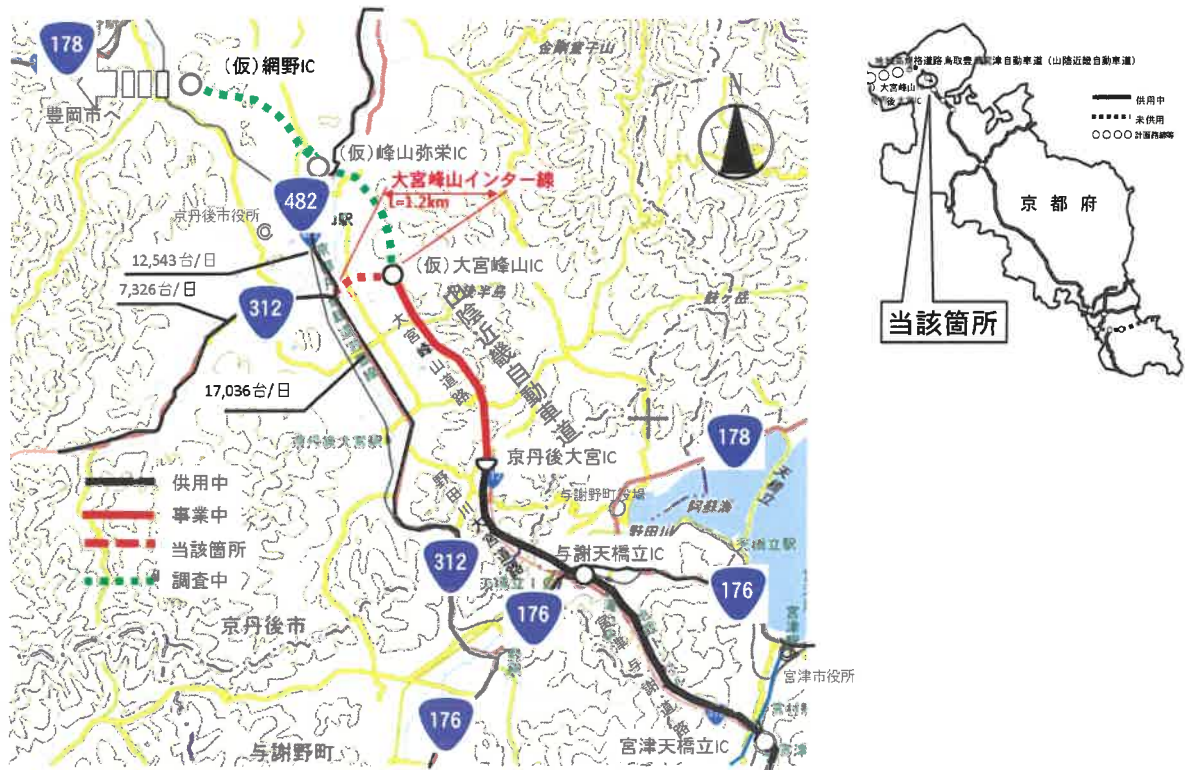
◎事業概要

全体計画	H29 までの実績	H30 計画
事業期間：H29～H36 事業延長：1.2km 幅員：6.5(8.0)m 総事業費：約 9 億円	事業概要：測量・設計 事業費：0.2 億円	事業概要：土質調査・設計 事業費：0.2 億円

◎事業効果

- 道路の防災性を高め、周辺地域の防災機能の向上や広域的な医療体制の充実
- 物流や観光客等について、京都府中部地域と阪神地域との交流・連携を促進します。

【概要図】



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当（075-414-5252）

うじこや いぬうち
主要地方道 宇治木屋線（犬打峠）
 （宇治田原町^{みなみ}南～和束町^{べっしょ}別所）

主要地方道宇治木屋線は、宇治市宇治橋を起点に相楽郡和束町木屋に至る道路であり、相楽東部地域と京都市域を結ぶ最短ルートですが、宇治田原町と和束町にまたがる犬打峠では、道路幅が狭く、急カーブが連続しているため、普通車の離合が困難な交通の難所となっています。

また、大雨時に孤立する恐れのある和束町の住民の安心・安全を確保するためにも重要な道路であり、和束町役場から宇治田原町インターチェンジまで15分程度で結ばれるなど、その整備効果が大いに期待されます。

本事業では、この峠区間をトンネル等で整備することにより、安全で円滑な走行の確保を図るとともに、高速道路へのアクセス機能向上により地域産業の振興や交流人口拡大に寄与するものです。

平成30年度は、用地測量、用地買収、詳細設計（トンネル、橋梁）、調査（土質・水文）を実施します。

◎事業概要

全 体 計 画	H29 までの実績	H30 計画
事業期間：H29～H35 事業延長：3.6km 幅 員：6.0(7.5)m 総事業費：約65億円	事業概要：予備設計、 地形測量、水文調査等 事業費：0.33億円	事業概要：用地測量、用地買収 詳細設計（トンネル・橋梁） 調査（土質・水文） 事業費：1.4億円

◎事業効果

- 線形改良により、現道の交通難所を解消し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 高速道路へのアクセス向上により、地域産業の振興や交流人口拡大等に寄与します。

位置図



現道の状況



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当（075-414-5252）

一般国道307号（奥山田バイパス） （宇治田原町奥山田）

一般国道307号は、滋賀県彦根市を起点とし、宇治田原町、城陽市、京田辺市を経由して、大阪府枚方市に至る延長約105kmの幹線道路で、京奈和自動車道等の広域幹線に連絡し、関西文化学術研究都市へのアクセス道路となる重要な路線であり、災害時に重要な役割を担う第2次緊急輸送道路に指定されています。

奥山田バイパスは、平成16年度に完了した裏白バイパスに引き続き着手したものであり、幅員狭小、線形不良区間について、延長約1.7kmのバイパス事業を実施するものです。

平成17年度より新規着手し、大杉トンネル・奥山田2号橋が完成しています。

平成30年度は、引き続き道路築造工、舗装工を推進し、年度内供用開始を目指します。

◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H17～H30	事業概要：道路築造工 橋梁上部工	事業概要：道路築造工 舗装工
事業延長：1.7km		
幅員：6.5(8.0)m		
総事業費：約40億円	事業費：約34億円	事業費：約6億円

◎事業効果

- 大型車の離合が容易となり、通行車両や歩行者の交通の安全性と利便性が向上します。
- 第2次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。
- 滋賀県との交流連携を促進します。

施工の状況（起点側）



施工の状況（奥山田2号橋）



位置図



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当（075-414-5252）

ほうき 一般国道423号 (法貴バイパス)

(かめおか にしべついでん そがべ
亀岡市西別院町～曾我部町)

亀岡市南西部を通る国道423号は、大阪市北区の国道25号を起点とし、箕面市を^{みのお}経由した後、亀岡市で国道9号に至る約53kmの道路で、京都縦貫自動車道亀岡ICに接続し、昨年度に開通した新名神高速道路箕面とどろみICへも接続していることから、京阪神地域へのアクセス性が大幅に向上し、京都府中部地域と阪神地域とを結ぶ重要な幹線道路となっています。

しかし、京都府域の亀岡市西別院町から曾我部町に至る区間は急カーブや急勾配が連続し、第1次緊急輸送道路に指定されているにもかかわらず異常気象時の事前通行規制区間であるため、車両の安全で円滑な通行に支障をきたしています。

このため本事業は、現道の急勾配・線形不良区間を迂回するバイパス道路を整備することにより、通行車両の安全で円滑な通行を図るものです。

平成30年度は、構造物設計、用地買収を進めるとともに、築造工事に着手します。

◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H25～H34	事業概要：測量・調査	事業概要：築造工事
事業延長：3.61km	道路設計	構造物設計
幅員：6.5(8.0)m	用地測量	用地買収
総事業費：約42億円	事業費：3.8億円	事業費：2.0億円

◎事業効果

- バイパス道路の整備により、現道の交通難所を回避し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 道路の防災性を高め、事前通行規制区間の解消と緊急輸送道路としての信頼性向上を図ります。
- 物流や観光客等について、京都府中部地域と阪神地域との交流・連携を促進します。

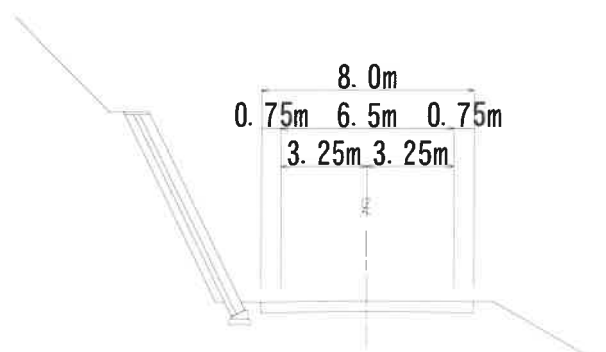
【位置図】



【現況】



【計画横断面図】



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当 (075-414-5252)

一般国道372号（南八田道路）

（南丹市園部町南八田地内）

一般国道372号の南丹市園部町南八田の現道は、京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道にアクセスし、京阪神都市圏と京都府中部地域を結ぶ幹線路線であり、また第1次緊急輸送道路にも指定されている重要な路線ですが、幅員狭小で線形不良のため、大型車のすれ違いが困難となっているなど、通行の安全に支障を来している状況です。

このため、本事業を実施することで、幅員狭小・線形不良区間を解消し、第1次緊急輸送道路としての防災機能の向上を図るとともに、円滑で安全な走行環境を確保することにより、府県間における広域な交流促進を図るものです。

平成30年度は、引き続き道路築造工を推進します。

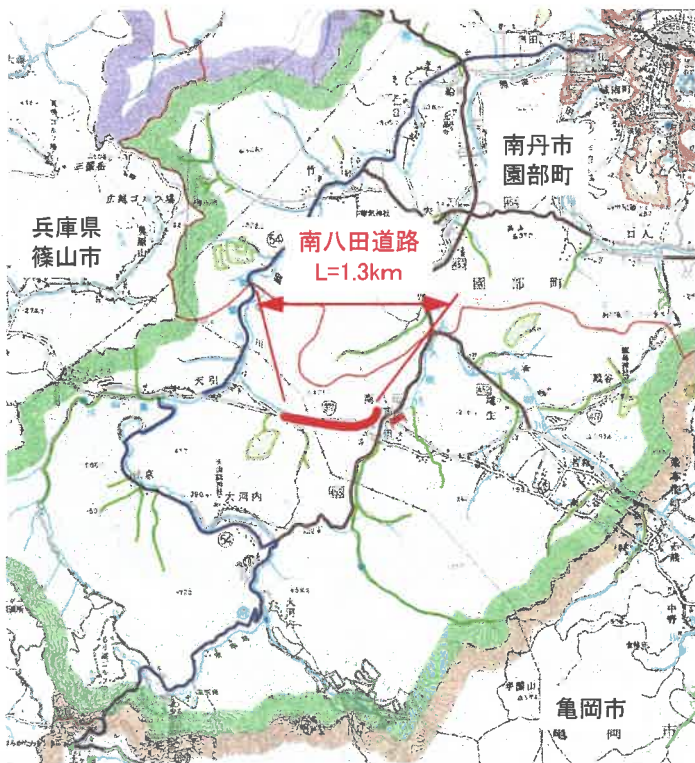
◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H20～H32 事業延長：1.3km 幅員：6.5(10.5)m 事業費：約19億円	事業概要：用地補償 排水工 道路築造工 事業費：約15億円	事業概要：道路築造工 事業費：約1.2億円

◎事業効果

- 大型車のすれ違いが容易となり、車両や歩行者の通行の安全性と利便性が向上します。
- 2車線道路の整備により、第1次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。
- 京都府中部地域と兵庫県との府県間交流の促進を図ります。

位置図



現道の状況



施工の状況



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当（075-414-5252）

主要地方道 舞鶴福知山線 (三日市)

(舞鶴市三日市)

一般国道 175 号 (下天津)

(福知山下天津)

主要地方道 舞鶴綾部福知山線 (川北～猪崎)

(福知山市川北～猪崎)

一般府道 石原停車場戸田線 (戸田橋)

(福知山市戸田)

国土交通省では一級河川由良川流域における浸水被害の防止又は軽減を図るため、河川改修事業を推進しています。これに伴い、由良川に並行する道路の一部で嵩上げや改修が必要となることから、国土交通省の事業と歩調を合わせ、一体的に道路整備を進めることで、交通の安全確保と地域の防災機能強化を図ります。

平成30年度は、測量・設計、用地補償、道路築造及び橋梁上部工等を実施します。

◎事業概要

箇所名	全体計画	H29 までの実績	H30 計画
(主) 舞鶴福知山線 (舞鶴市三日市)	事業期間：H30～H34 延長・幅員：1.8km・6.0(7.25)m 総事業費：約 3.0 億円		事業概要：道路築造 事業費：0.7 億円
(国) 175 号 (福知山市下天津)	事業期間：H28～H35 延長・幅員：0.5km・6.5(10.5)m 総事業費：約 4.0 億円	事業概要：測量設計 事業費：0.2 億円	事業概要：測量設計 用地補償 事業費：0.4 億円
(主) 舞鶴綾部福知山線 (福知山市川北～猪崎)	事業期間：H26～H35 延長・幅員：1.2km・6.0(10.0)m 総事業費：約 9.5 億円	事業概要：用地補償 事業費：1.2 億円	事業概要：用地補償 事業費：0.5 億円
(一) 石原停車場戸田線 (戸田橋)	事業期間：H26～H31 延長・幅員：0.3km・6.0(10.0)m 総事業費：約 8.8 億円	事業概要：橋梁上下部工 事業費：5.9 億円	事業概要：橋梁上部工 道路築造 事業費：2.9 億円

◎事業効果

- 歩行者、自転車通行の安全性の向上を図ります。
- 異常気象時等における防災機能の向上を図ります。

位置図



現在の状況



(一) 石原停車場戸田線 (戸田橋)

標準横断面図 (戸田橋)



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当 (075-414-5252)

主要地方道 浜丹後線 (上野平バイパス)

(京丹後市丹後町久僧^{きゅうそう へい}～平)

主要地方道 浜丹後線 (宮バイパス)

(京丹後市丹後町宮)

一般府道 間人大宮線 (丹後弥栄道路・丹後工区)

(京丹後市丹後町三宅^{みやけ やさか}～弥栄町国久^{くにひさ})

主要地方道浜丹後線及び一般府道間人大宮線については、国道178号等と併せて丹後半島を周遊する道路を形成し、第2次緊急輸送道路に指定されるなど、地域の生活を支える重要な路線です。

しかし、一部区間で幅員が狭く、急カーブ・急勾配が連続するなど、安全な通行に支障をきたしているため、バイパス道路の整備により、通行の安全確保と地域振興の促進を図ります。

平成30年度は、引き続き用地補償、道路築造及び橋梁下部工等を実施します。

◎事業概要

箇所名	全体計画	H29までの実績	H30計画
(主) 浜丹後線 (上野平バイパス)	事業期間：H26～H33 事業延長：1.7km 幅員：6.0(10.0)m 総事業費：約13億円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 事業費：約5.9億円	事業概要：用地補償 道路築造 事業費：約1.7億円
(主) 浜丹後線 (宮バイパス)	事業期間：H27～H31 事業延長：1.1km 幅員：6.0(7.5)m 総事業費：約5億円	事業概要：測量設計用 地補償道路 築造 事業費：約2.4億円	事業概要：道路築造 事業費：約1.8億円
(一) 間人大宮線 (丹後弥栄道路 丹後工区)	事業期間：H26～H33 事業延長：3.0km 幅員：6.5(10.5)m 総事業費：約18億円	事業概要：測量設計 用地補償 橋梁下部工 道路築造 事業費：約5.4億円	事業概要：用地補償 橋梁下部工 道路築造 事業費：約3.6億円

◎事業効果

- 急カーブ・急勾配が連続する交通ネック箇所を解消し、円滑な通行を確保します。
- 通過交通をバイパス道路に誘導し、現道部における歩行者の安全性向上を図ります。
- 丹後半島を一周する道路の整備により、観光振興を支援します。

位置図



現道の状況



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当 (075-414-5252)

ひがしちゆうおう
都市計画道路 東中央線
きづ かみこま
(木津川市木津～山城町上粕)

都市計画道路東中央線は、木津川市の京奈和自動車道木津ICから関西文化学術研究都市木津地区を縦貫して、一級河川木津川を渡り、国道163号に至る幹線道路です。

本事業区間と国が整備する都市計画道路天神山線（木津東バイパス）とのネットワークにより、住宅、研究施設、企業の立地など計画的なまちづくりに資するとともに、交通分散による中心市街地部の渋滞緩和を図ります。

更に、木津川を渡河する新しい橋梁を整備することにより、国道24号が災害・事故等により通行止となった場合の代替路線が確保され、防災機能の向上を図ります。

平成30年度は、引き続き用地補償、道路築造工及び橋梁上下部工を推進します。

◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H21～H31 事業延長：1,430m 幅員：12m 総事業費：約70億円	事業概要：測量調査 用地補償 築造工事 橋梁上下部工事 事業費：約47.1億円	事業概要：用地補償 築造工事 橋梁上下部工事 事業費：約15.2億円

◎事業効果

- 関西文化学術研究都市木津地区のまちづくりを支援します。
- 交通分散による市街地中心部の渋滞緩和を図ります。
- 木津川を渡河する新たな橋梁を整備し、防災機能の向上を図ります。

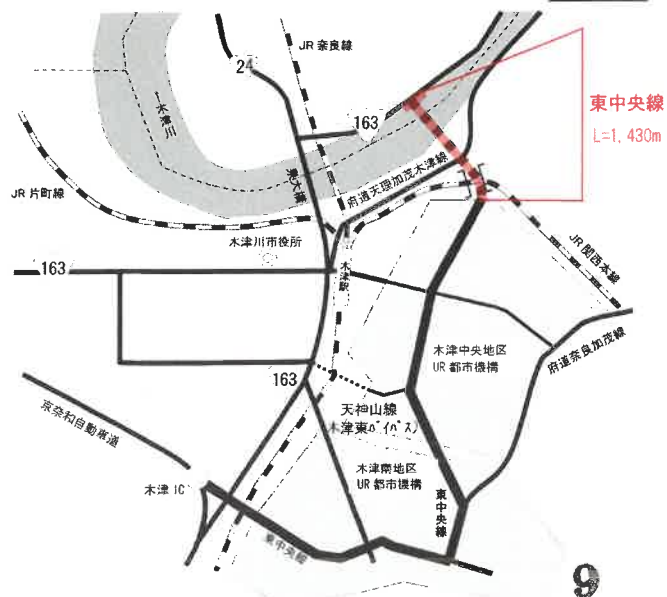
現在の状況（市街地中心部）



施工の状況（木津川渡河橋梁部）



位置図



かみこまじょうよう かみたまかわ 主要地方道上狛城陽線（上玉川橋） つづき いで いで (綴喜郡井手町井手地内)

主要地方道上狛城陽線は、京都府南部に位置し、木津川市山城町上狛を起点に井手町を
 経由して城陽市に至る道路で、木津川右岸地域の南北幹線であり、沿道住民の生活交通も担
 う重要な役割も担っていますが、玉川の渡河部にある上玉川橋は架設後60年以上経過してお
 り老朽化が著しく、併せて、幅員も狭小なため、円滑な交通に支障を来している状況となってい
 ます。

本事業により、老朽化が進行している上玉川橋の架け替えを実施し、老朽化橋梁の解消に
 による災害時の信頼性及び安全性の向上を図ります。

平成30年度は、引き続き橋梁下部工及び橋梁上部工を実施します。

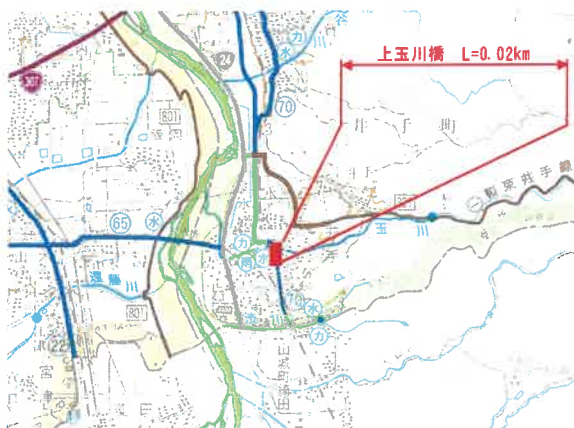
◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H28～H30 事業延長：0.02km 幅員：5.5(9.5)m 事業費：約2.75億円	事業概要：旧橋撤去工 橋梁上下部工 事業費：1.65億円	事業概要：橋梁上下部工 事業費：1.1億円

◎事業効果

- 老朽化橋梁の架替えにより、災害時における道路の信頼性向上を図ります。
- 2車線道路の整備により大型車の離合が容易となり、通行の利便性が向上します。

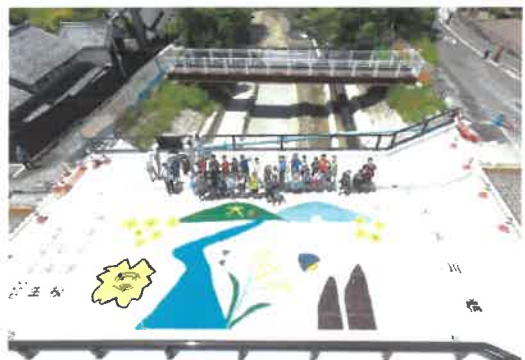
位置図



現橋の状況



工事見学会の様子 (H30. 5. 22 開催)



一般府道郷ノ口余部線（宇津根橋）

（亀岡市河原林町～宇津根町地内）

一般府道郷ノ口余部線は、亀岡市旭町の国道477号との交差点を起点とし亀岡市余部町で国道9号に接続する約8kmの路線で、地域の生活道路であるとともに高校生の通学にも利用されていますが、桂川の渡河部にある宇津根橋は架設後55年以上経過しており老朽化が著しく、また幅員狭小で歩道が無いため、歩行者や通行車両の安全性に支障を来している状況となっています。

本事業は、宇津根橋を含めた未改良区間の700mを整備することにより、老朽化橋梁の解消による災害時の信頼性の向上及び通行の安全性の確保を図るものです。

平成30年度は、引き続き橋梁下部工事を実施します。

◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H26～ 事業延長：0.7km 幅員：6.5(11.0)m 事業費：約41億円	事業概要：測量、設計 用地補償 橋梁下部工 事業費：約3.4億円	事業概要：橋梁下部工 事業費：1.4億円

◎事業効果

- 老朽化橋梁の架替えにより、災害時における道路の信頼性向上を図ります。
- 2車線道路の整備により大型車の離合が容易となり、通行の利便性が向上します。
- 歩道の設置により、高校生などの通学時の安全性が確保されます。

位置図



現道の状況



施工の状況



原子力災害時避難路整備事業

まいづる あやべ
(舞鶴市域・綾部市域)

舞鶴市大浦半島及び綾部市上林地区の道路ネットワークを形成している、主要地方道舞鶴野原港高浜線及び一般府道上杉和知線をはじめとする各路線は、沿道集落の生活を支える生活道路であるとともに、原子力災害時等における避難路として、緊急輸送道路と併せてその機能を発揮することが期待されています。

しかし、当該路線の一部で、幅員狭小・線形不良箇所があり、円滑な避難活動等に支障をきたしているため、これらの区間について待避所設置や道路拡幅等を進め、避難経路の信頼性向上と地域振興の促進を図ります。

平成30年度は、引き続き測量・設計、用地補償及び道路築造を実施します。

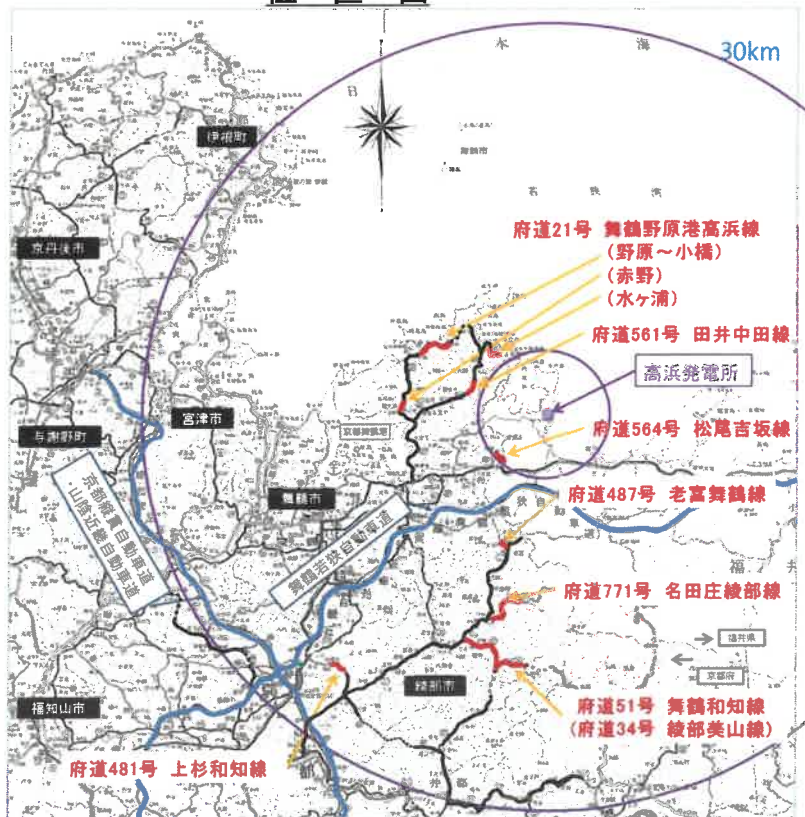
◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H29～H38 事業延長：26.7km 幅員：5.5(7.0)m 事業費：約24億円	事業概要：測量・設計 用地補償 道路築造 事業費：2.4億円	事業概要：測量・設計 用地補償 道路築造 事業費：2.3億円

◎事業効果

- 原子力災害時等における避難経路の信頼性向上を図ります。
- 幅員狭小、線形不良区間が解消され、安全で円滑な走行に寄与します。

位置図



対策前の状況



対策後



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁担当 (075-414-5252)

にしきょうたかつき 主要地方道 西京高槻線 交通安全対策 (向日市寺戸町)

主要地方道西京高槻線は、京都市西京区を起点とし乙訓地域を南北に縦断する幹線道路であり、周辺住民の生活を支える道路として重要な役割を担っています。

本事業箇所は通学路で交通量が非常に多い交差点であるにも関わらず、右折レーンや歩道が未整備で道路幅員も狭いことから、朝夕の通勤・通学時には渋滞や歩行者と車両が交錯するなど、非常に危険な状況となっています。

このため、本事業により交差点改良と歩道整備を行い、自動車及び歩行者の安全性を確保するものです。

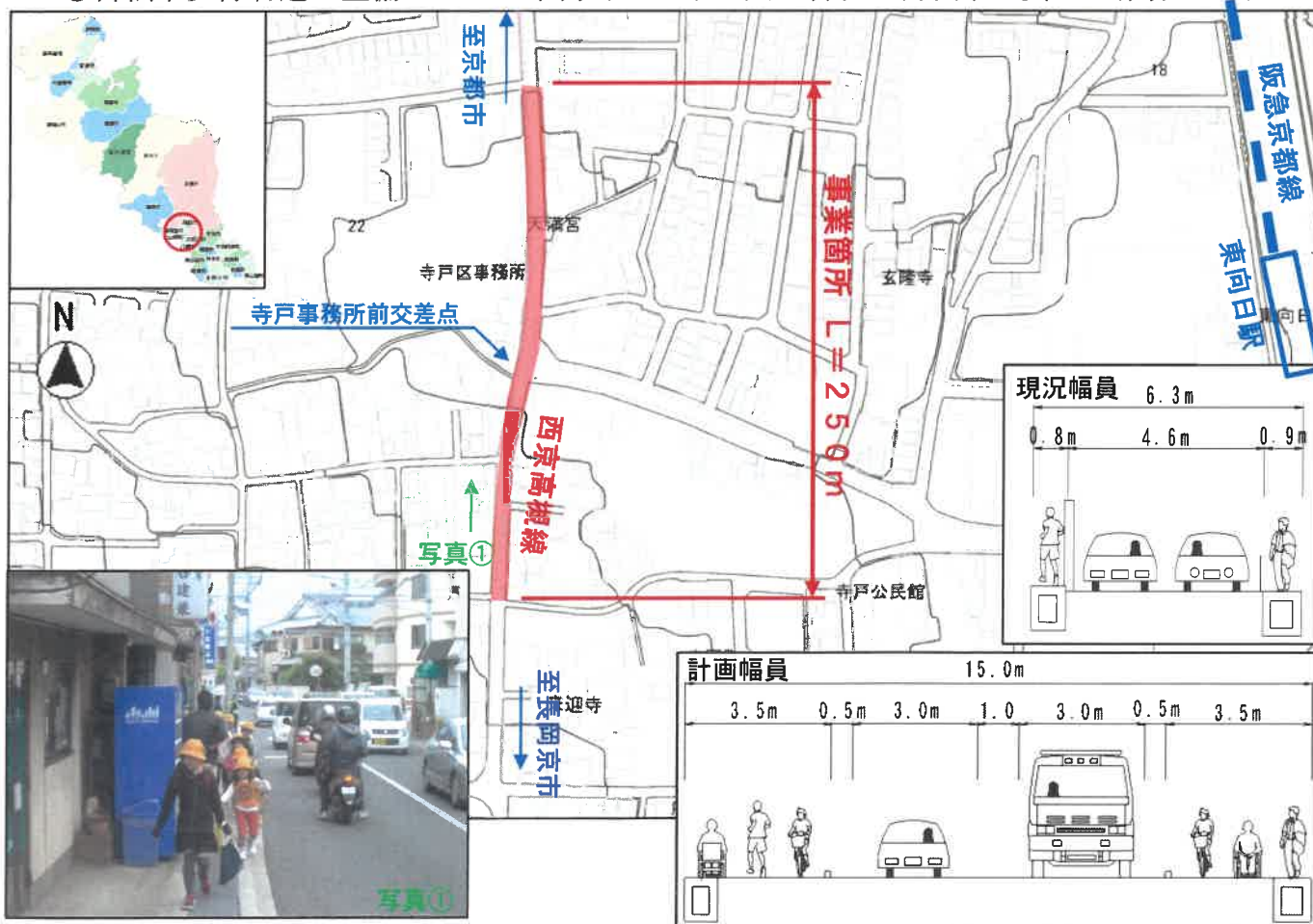
平成30年度は、用地補償と築造工事を実施し、完成を目指します。

◎事業概要

全体計画	H29 までの実績	H30 計画
事業期間：H25～H30	事業概要：測量・設計	事業概要：用地補償
事業延長：0.25km	用地補償	築造工事
幅員：6.0(15.0)m	築造工事	
事業費：約13億円	事業費：約10.8億円	事業費：2.15億円

◎事業効果

- 交差点改良により右折レーンを確保することで、渋滞緩和を図ります。
- 安全な通学路を確保し、通学時の事故防止を図ります。
- 自転車歩行者道の整備により、市街地における買い物客や自転車の安全性を確保します。



問い合わせ先：道路管理課安全・指導担当 (075-414-5262)

しのみやがわ よどがわ
四宮川総合流域防災事業(淀川水系四宮川)

やましくしのみや
 京都府京都市山科区四ノ宮付近

平成25年台風18号の集中豪雨により、山科川流域の四宮川が氾濫し、床上34戸、床下53戸の浸水被害が発生しました。

このため、平成25年台風18号と同規模の出水に対し、人家浸水被害の軽減を図ります。

◎ **事業概要**

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間: H29～ C=5,000百万円 掘削工、矢板護岸工、 護岸工、物件補償等 L=2,300m	C= 30百万円 事業概要 測量、土質調査	C=140百万円 事業概要 護岸工、測量・設計



◎ **当該年度の事業予定**

護岸工(山科川合流点下流部)、測量・設計



一級淀川水系 古川 広域河川改修事業・床上浸水対策特別緊急事業

久御山町・宇治市・城陽市

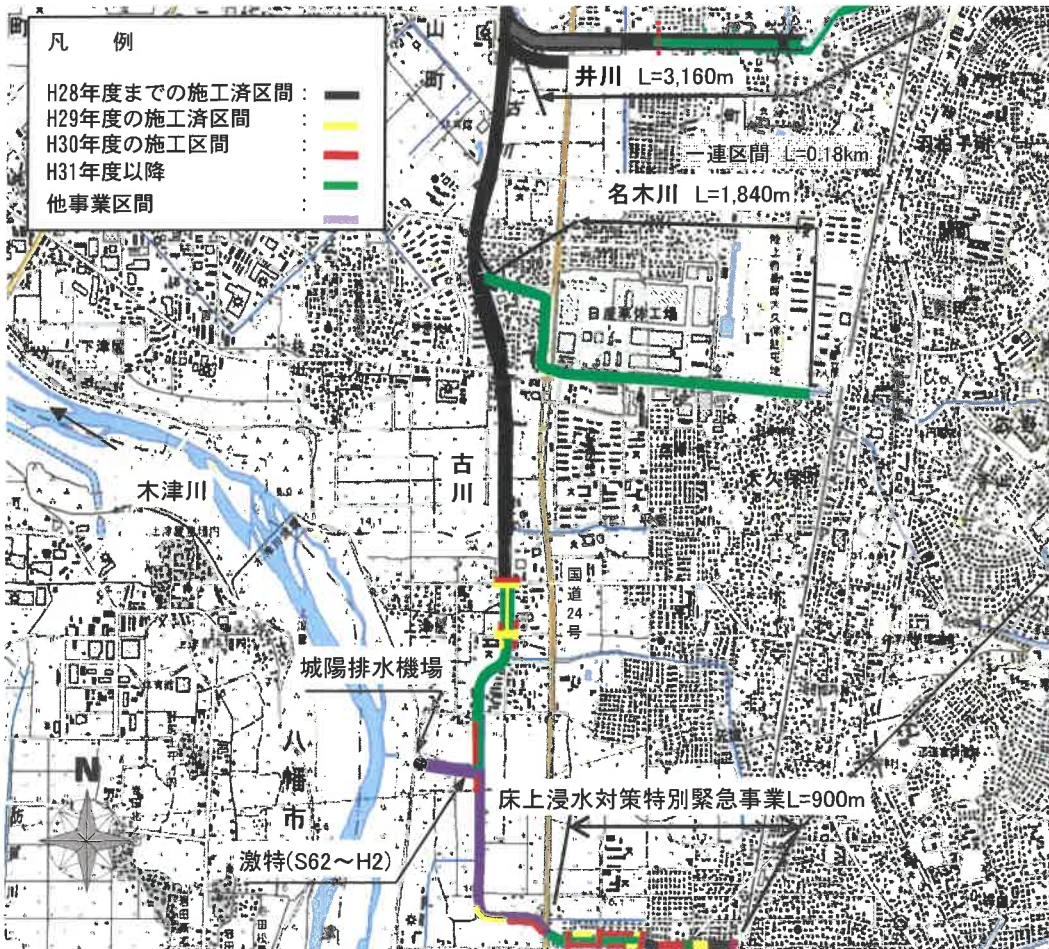
古川と支川の井川では近年、度々、浸水被害が発生しており、平成24年8月14日京都府南部地域を襲った豪雨により古川上流部に位置する城陽市域では床上浸水159戸、床下浸水387戸が発生し、再度災害防止のため河川改修の推進による治水安全度の向上が強く望まれています。このため、床上浸水対策特別緊急事業により、早期に浸水被害の軽減を図ります。また、古川の国道24号交差部下流や支川の井川についても、浸水被害の軽減を図るため河川改修を進めます。

○事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
古川床上浸水対策特別緊急事業 L=900m 事業期間:H26～H31 C=5,050百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工、用地物件補償	C=3,510百万円 事業概要 用地物件補償、護岸工 橋梁工	C=1,254百万円 事業概要 物件補償、護岸工 橋梁工
古川広域河川改修事業 L=8,500m (井川3,160m、名木川1,840m) 事業期間:S60～ C=45,700百万円 事業概要 掘削工、築堤工、護岸工、橋梁工、用地物件補償	C=30,045百万円 事業概要 掘削工、築堤工、護岸工、 橋梁工、用地物件補償	C=360百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工、 サイフォン工

○当該年度の事業予定

古川本川は、河道の掘削工、護岸工、橋梁工、物件補償等を進め、井川については、サイフォンの移設準備を進め、古川本川の進捗状況に合わせた改修を実施します。



問い合わせ先: 河川課整備担当 (075-414-5285)

桂川（亀岡工区）については、亀岡市の保津峡入口付近から南丹市八木町境までの、延長9,400mを計画区間として事業を進めています。保津工区（保津峡入口部～旧保津橋 L=2,300m）については、当面計画（S57出水対応）に基づく改修が概成し、現在、下流直轄区間の整備状況を踏まえつつ、戦後最大洪水に対応した本川整備を進めています。

支川の雑水川、千々川及び七谷川においても本川と併せて整備を行います。

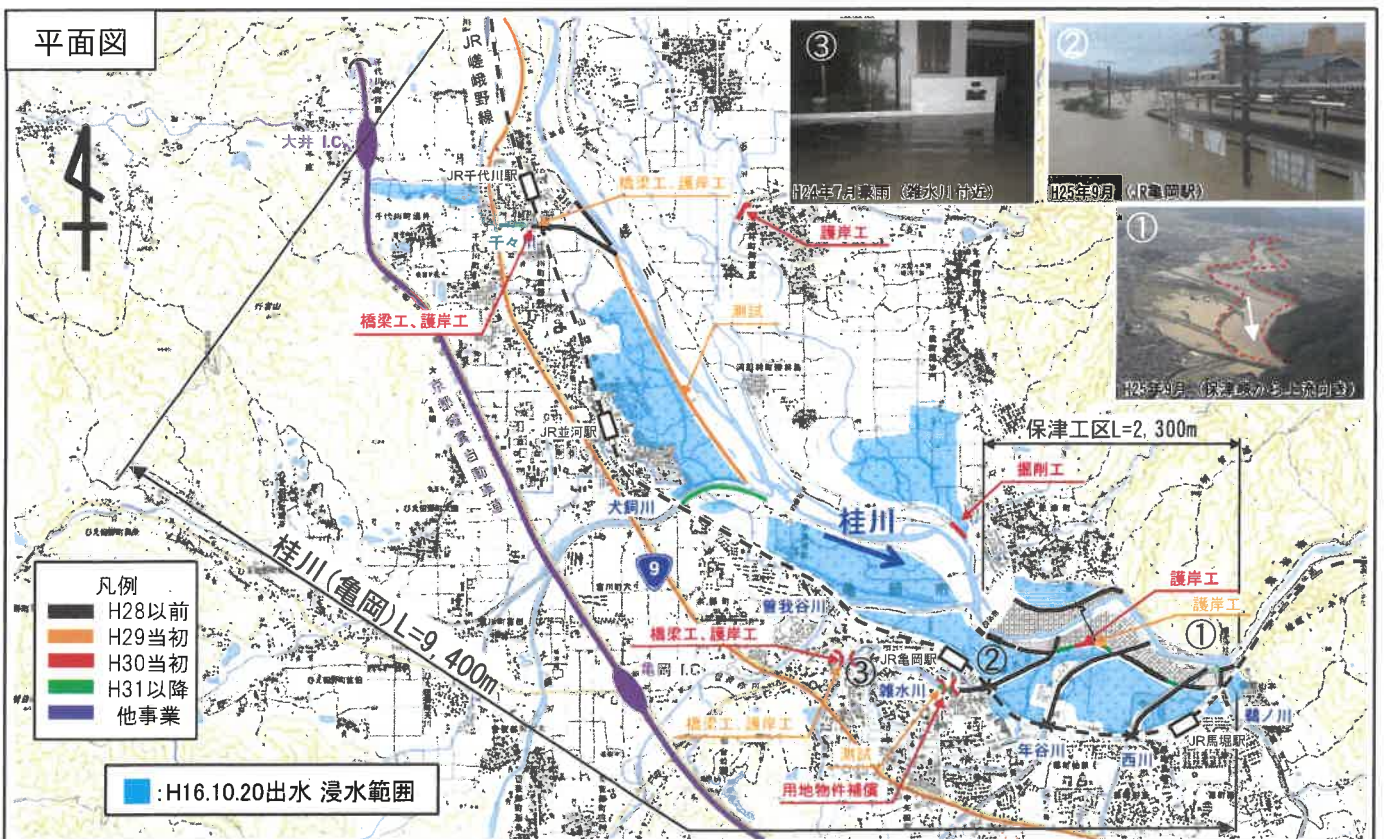
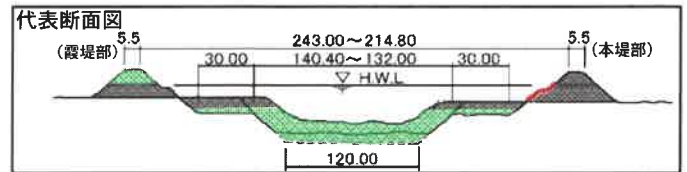
◎ 事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：S50～	C= 28,589百万円	C= 400百万円
掘削工、築堤工、護岸工 橋梁工、樋門工、用地買収 L=9,400m	事業概要 掘削工、護岸工 橋梁工、用地物件補償	事業概要 護岸工、橋梁工、掘削工 測量・設計、用地物件補償



◎ 当該年度の事業予定

本川は、保津工区で護岸工を実施予定。
 雑水川では、用地物件補償、護岸工及び橋梁工を実施予定。
 千々川では、護岸工、橋梁工を実施予定。
 七谷川では、護岸工、掘削工を実施予定。



弘法川・法川床上浸水対策特別緊急事業（由良川水系弘法川・法川）

ふくちやま
福知山市

由良川沿川の福知山市では、平成26年8月豪雨により甚大な浸水被害が発生しました。

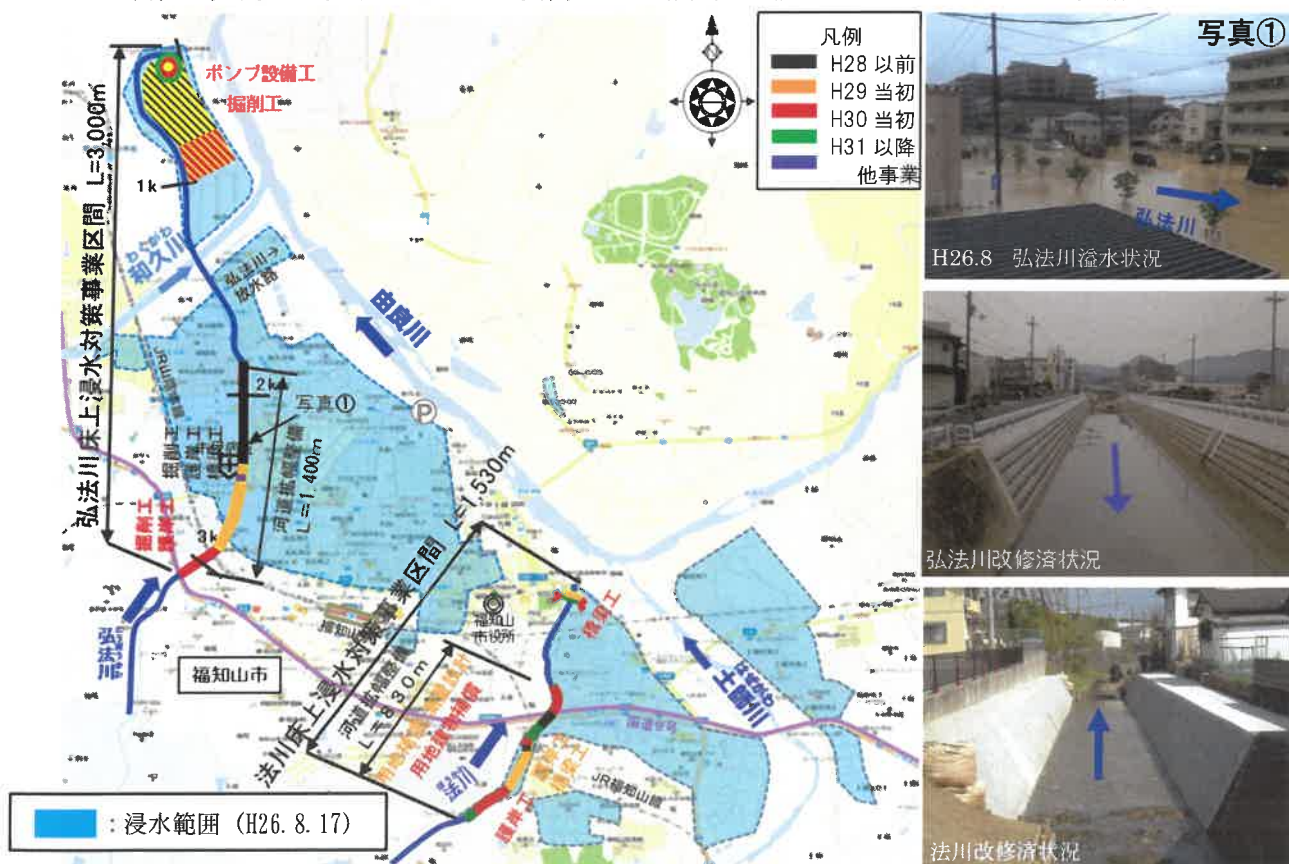
そこで、国、京都府、福知山市の3者が連携して浸水対策事業を実施することとし、府の事業としては、弘法川及び法川の河川改修・調節池・ポンプ施設等を整備し、早期に浸水被害軽減を図ります。

◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H27～概ね5年間 C=7,400百万円 [弘法川]事業区間 L=3,000m [法川]事業区間 L=1,530m 掘削工、護岸工、橋梁工 調節池、樋門工、用地買収他	C=4,700百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工 測量設計、用地買収	C=1,800百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工、 ポンプ設備工、用地買収

◎当該年度の事業予定

当該予算において、弘法川で掘削工、護岸工、橋梁工、ポンプ設備工及び用地買収、法川では、護岸工、橋梁工及び用地買収等を実施します。



高野川広域河川改修事業（高野川水系高野川）

京都府舞鶴市

高野川流域では、平成16年台風23号による洪水と高潮により、床上156戸、床下642戸の浸水被害が発生し、平成25年台風18号及び平成29年台風21号においても同様の浸水被害が発生しました。

このため、平成16年台風23号と同規模の出水に対し、浸水被害の軽減を図ります。



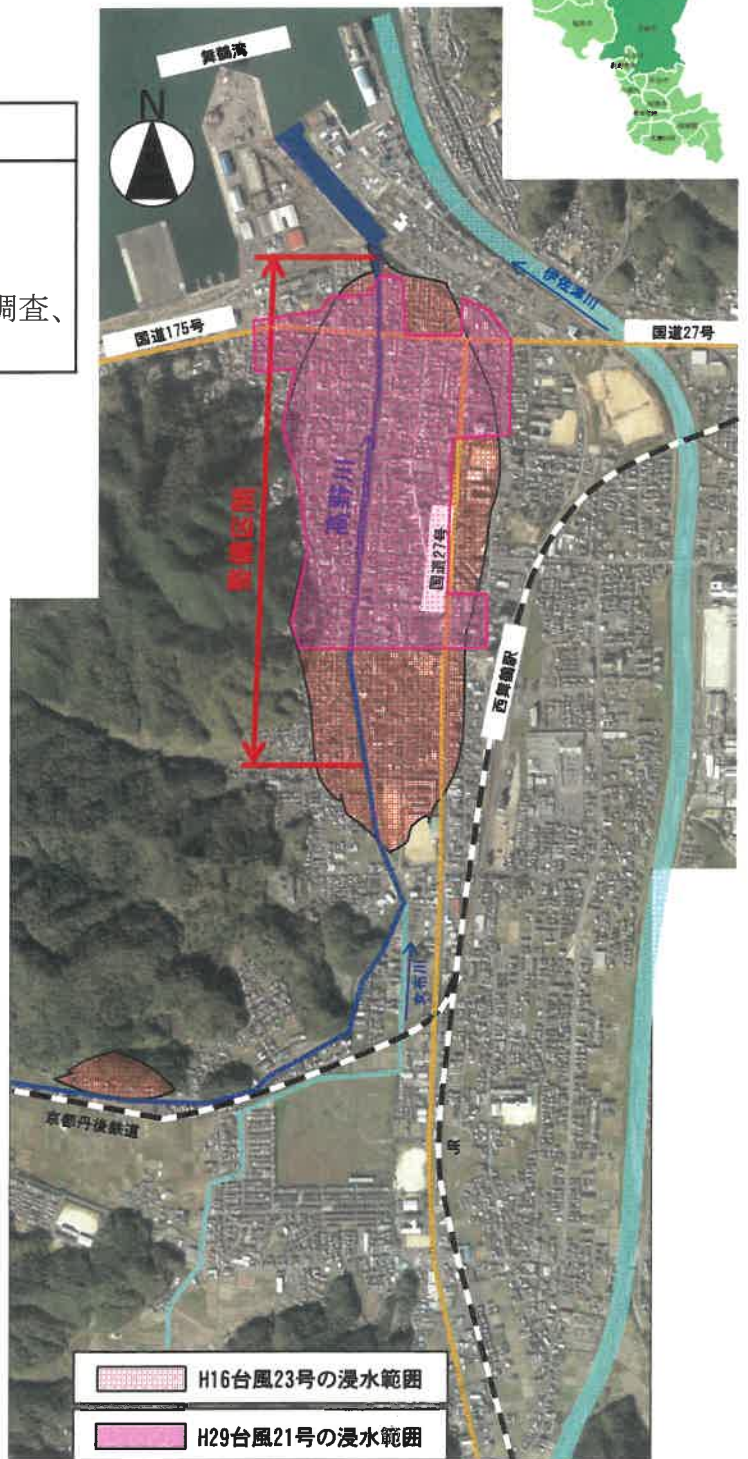
◎ 事業概要

全体計画	H30計画
事業期間 H30～ C=8,243百万円	C=30百万円
掘削工、護岸工、 橋梁工、用地買収等	測量調査、土質調査、 詳細設計

◎ 当該年度の事業予定

測量調査、土質調査、詳細設計

近年の浸水被害(戸)	床下浸水	床上浸水	合計
平成25年台風18号	178	168	346
平成29年台風21号	311	134	445



京都府 淀川水系 おとわがわ 音羽川 総合流域防災事業（砂防設備等緊急改築）

きょうとし さきょうく しゅうがくいん
（京都市 左京区 修学院）

◎事業目的

音羽川は比叡山に源を発し、いくつもの谷川を合流しながら京都市左京区の修学院離宮の南側を流れ、高野川に合流する流域面積3.8km²の河川である。

現在の砂防堰堤（S53年3月改築 H=22.5m）は、音羽川流域で大きな被害をもたらせた昭和47年災害以前に造られていた堰堤が、災害で土砂が満杯になったため嵩上げされたものである。砂防堰堤の設計基準は、昭和51年以降の指針等により、堤高15m以上の砂防堰堤について地震時外力を考慮した設計を行うこととなっているが、本堰堤はこの基準以前に設計・施工されている。

平成23年3月の東日本大震災を受け、現在の堰堤について安定性の照査を行ったところ、地震力を考慮した場合、転倒、滑動に対し所定の安全性を満足しないことが判明したことから、耐震補強事業を実施するものである。

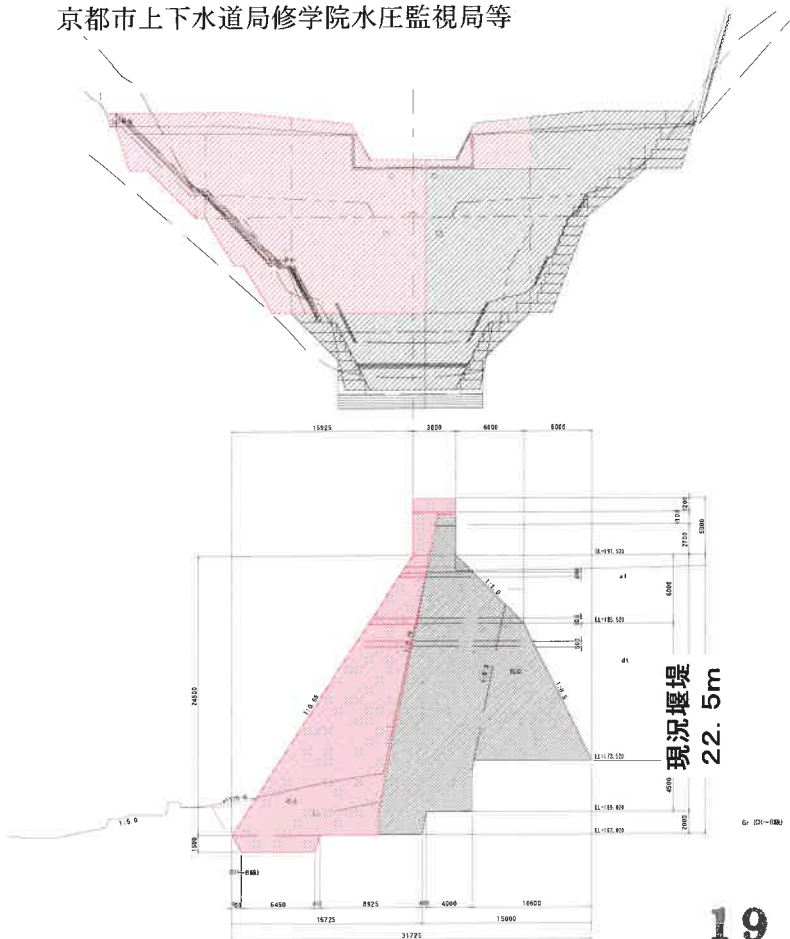


◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
H24補正～H30 調査、設計 砂防えん堤耐震補強 1基 事業費 440百万円	えん堤本体工（左岸） 支障物件移設 事業費320百万円	えん堤本体工（右岸） 事業費：140百万円

◎事業効果

人家1,044戸、修学院小学校（地域防災計画に基づく避難所）
府道367m、市道7,565m
京都市上下水道局修学院水圧監視局等



H29年度末 現場状況

問い合わせ先：砂防課事業担当(075-414-5314、5319)

わ せ だ
早稲田 急傾斜地崩壊対策事業
 おとくにぐんおおやまぎちょうわせだ
 (乙訓郡大山崎町早稲田)

◎事業目的

早稲田地区は、斜面脚部より高さ200mを超えるような急峻な山林のふもとに人家が建ち並んでいます。大雨により急峻な斜面の崩壊による災害の発生が懸念されるため、対策を行うものです。

平成30年度は、測量、調査、設計を行います。

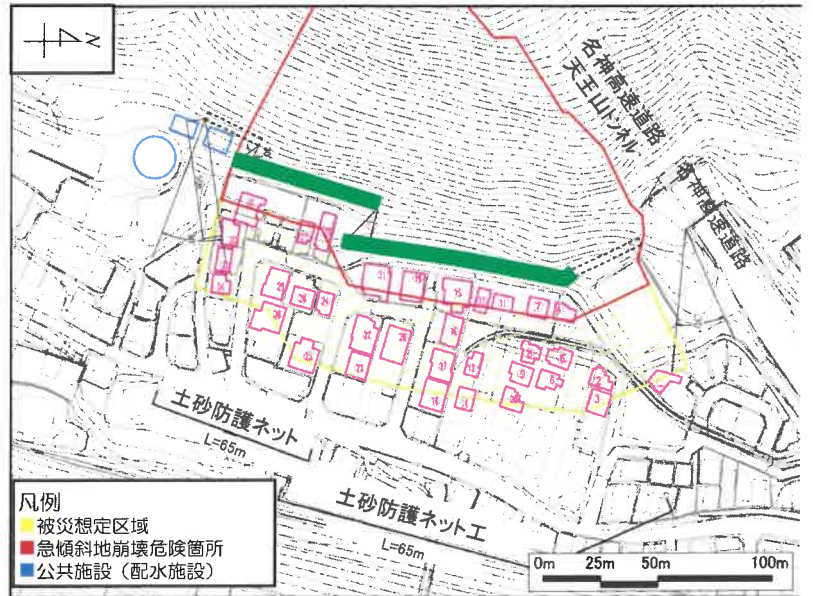
◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間: H30~H34 事業概要: 土砂防護ネット170m 事業費 : 500百万円		事業概要: 測量 土質調査 詳細設計 事業費: 24百万円

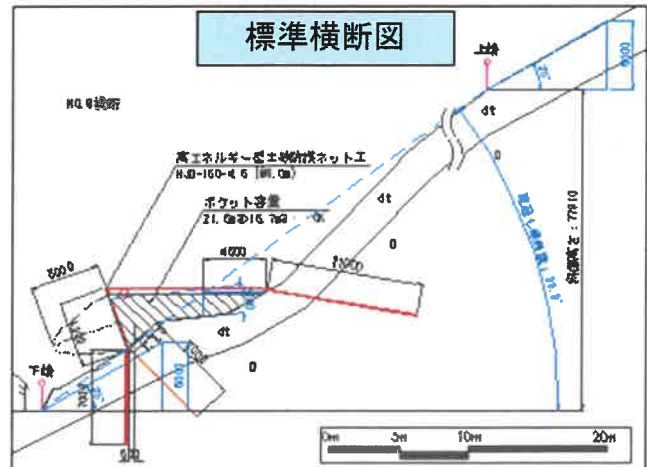
◎事業効果

保全対象: 人家34戸、道路221m (町道163m、その他58m)

位置図



標準横断面図



問い合わせ先: 砂防課事業担当 (075-414-5314、5319)

切山 地すべり対策事業

(相楽郡笠置町切山)

◎事業目的

笠置町切山地区は、木津川右岸の北側斜面に位置し、上部にある湿地帯、区域末端にある隆起部、また、地下水位が高いといった典型的な地すべりの特徴を有しています。地すべりが発生した場合、第一次緊急輸送路である国道163号と一級河川木津川に近接していることから、被害は地区内に留まらず広範囲に影響を与える恐れがあり、早急に対策する必要があります。

平成30年度は、集水井工(1基)を実施する予定です。

◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間:H14~H31(予定) 事業概要:集水井工 11基 集水横ボーリング工 7基 事業費:1,700百万円	事業概要: 調査、設計、集水井工 9基 集水横ボーリング工 7基 事業費:1,334百万円	事業概要: 集水井工 1基 事業費:140百万円

◎事業効果

地すべり災害から保全対象の人家36戸、公民館(避難場所)、緊急輸送道路等の安全を確保します。



鴨川公園

千年の都・鴨川清流事業（都市公園事業）

（京都市伏見区～北区 地内）

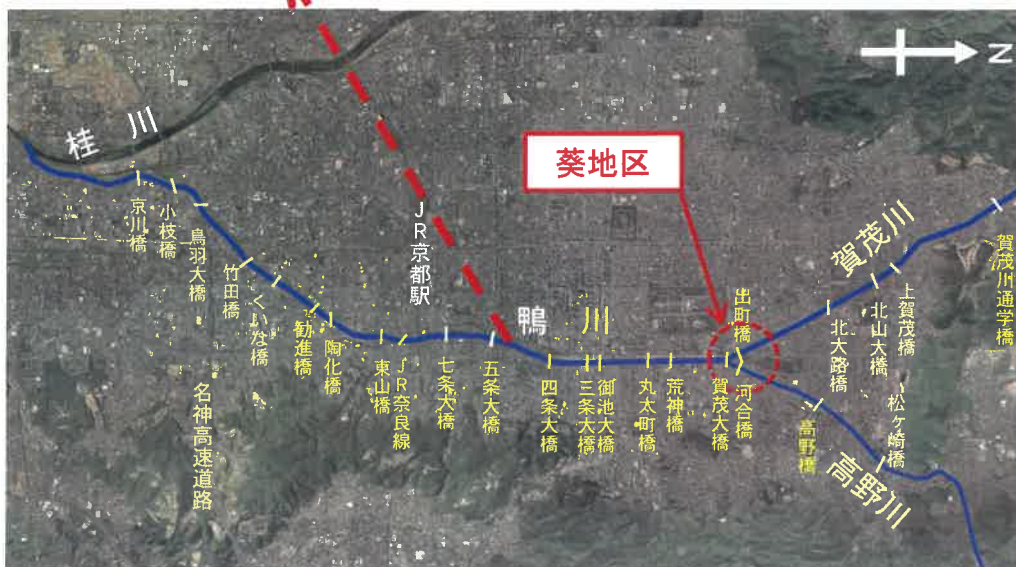
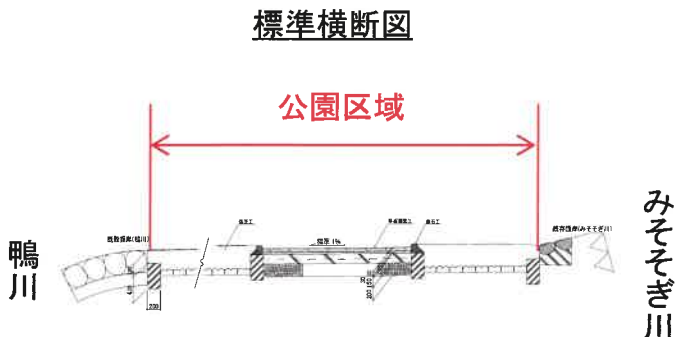
鴨川は京都市の中心部を流れる最大のオープンスペースであり、人々にやすらぎや開放感をもたらす潤いある都市環境の創出に供する親水空間である。また、多様な文化を育んできた歴史を持ち、府民にとっては欠かせない存在である。昭和42年の都市計画決定以降も公園として整備を進めており、良好な都市環境の形成を目指すものである。
平成30年度は松原橋～五条大橋の園路整備及び葵地区の設計を実施する。

◎事業概要

事業箇所	事業内容	H30計画
松原橋～五条大橋	園路（舗装）	C=42百万円
葵地区	詳細設計	

◎事業効果

園路整備を行い、府民から親しまれる公共空間を図ることで、より一層の公園利用の増進を図る。
また、葵地区については、周囲資源や景観のつながりを高めつつ、立地条件を活かした新しい魅力を持つ公園に再生する。



問い合わせ先: 都市計画課 公園担当 (075-414-5272)

重要港湾京都舞鶴港 物流機能強化事業



海の京都

近畿地方で唯一の日本海側拠点港として、外貿の物流機能の強化を図り、府北部地域の産業振興や地域活性化に資するため、舞鶴国際ふ頭及び臨港道路の整備を国とともに取り組みます。

1 事業概要

- (1) 臨港道路 【直轄事業】臨港道路上安久線
【府事業】臨港道路和田下福井線（高野川橋梁工区）
- (2) 舞鶴国際ふ頭 【府事業】CFS（コンテナフルタイムゾーン）新設
- (3) 事業費

地区（施設）	事業期間	全体事業費	（千円）		
			H28まで	H29最終	H30計画
臨港道路 和田下福井線	⑳～㉓	1,351,000	415,000	200,000	286,000
舞鶴国際ふ頭 CFS新設 （「海の京都駅」関連）	㉑～㉒	297,000	—	162,000	135,000
舞鶴国際ふ頭 ふ頭用地整備	㉑完成	717,500	669,500	48,000	—
舞鶴国際ふ頭 多目的クレーン整備	㉑完成	733,500	463,500	270,000	—
計		3,099,000	1,548,000	680,000	421,000

参考：直轄事業（平成30年度）：和田地区（舞鶴国際ふ頭）ほか 813,220千円

2 位置図及び写真

○ 位置図



○ 臨港道路 和田下福井線



○ 舞鶴国際ふ頭（CFS）



○ 臨港道路 上安久線



23

問い合わせ先：港湾企画課計画担当（0773-75-0192）

京都舞鶴港「海の京都駅（仮称）」推進事業

京都の海の玄関口である京都舞鶴港では、平成29年度39回のクルーズ船が寄港し、平成30年度についても22回の寄港予定しています。

クルーズ船寄港に対応し、旅客のおもてなし満足度を向上させるため、観光拠点施設整備を実施します。

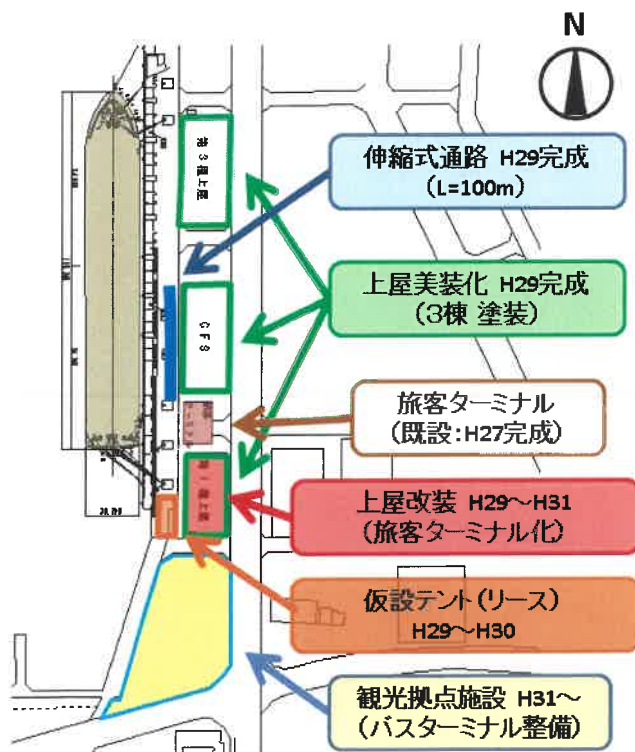
1 事業概要

- (1) 第1種上屋改装工事
既存上屋の旅客待合・観光拠点施設化
- (2) 仮設テント等設置工事
上屋改装工事完成までの仮設対応（テント、トイレ等設置）

(3) 事業費

地区（施設）	事業期間	全体事業費	（千円）		
			H29最終	H30計画	H31以降
第1種上屋改装工事 （旅客待合 ・観光拠点施設化）	②9～③1	298,000	100,000	45,000	153,000
仮設テント等設置工事 （上屋工事中仮設 観光拠点施設）	②9～③0	40,000	22,000	18,000	—
上屋美装化等工事 （上屋等壁面塗替 ・伸縮式通路等）	②9完成	92,000	92,000	—	—
計		430,000	214,000	63,000	153,000

2 位置図及び写真（第2ふ頭）



上屋改装（イメージ）



空気式仮設テント（リース）



クルーズ船 寄港状況